

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前短期大学 所属：ライフデザイン総合学科 名前：藤本 幹也 作成日：2024年12月20日

1. 教育の責任

科目名：春学期ゼミナールA（1単位）、秋学期ゼミナールB（1単位）

- (1)照明のデザインを通して、発想力、イメージする力を身に付ける。
- (2)建物の図面の作図能力をいかし、自身の思い描いたデザインを立体的に表現し、模型作成の技術力をみにつける。
- (3)自分のコンセプトやデザインを相手にわかりやすくつたえるプレゼンテーション能力を、各種図面、模型、文章表現を用いて設計概要を説明できる能力をみにつける。

2. 教育の理念

住空間デザインゼミでは、建築学を基礎から専門知識や技術など幅広く学び、実践的なスキルを修得することを目標としている。また、将来の建築士になることを目標とする学生も多く、授業では、ものづくり制作や、設計課題と通じて、各自テーマを設定し建物用途の特徴や利便性を理解し、設計計画、模型作成を通して、自身の設計・デザイン能力を身に付けてもらうことを目標とする。

3. 教育の方法

教育の目的と目標

（教員としての目標）

・知識や技術の伝達方法

学生自身の興味のある建物用途を選択してもらい、建物の事例の収集や基本的な知識を資料や事例研究を通じて身に付け、さらに自身で設計条件（敷地の設定や、建物規模、構造等）を設定することで、自身の設計に対し興味を持たせ、設計の過程を通じて問題点や課題解決能力など身に付けることができるようにする。また、建物を設計・デザインするだけでなく、設計のコンセプトをわかりやすく表現するために模型を作成や、CGによるプレゼンテーション能力を身に付けてもらう。模型作成については、作り方、材料の切り方など、基本から技術をみにつけ、最終的には模型を作成する。

・学生との接し方

基本的な進め方は、個別指導になる。学生の個々の質問に対し、授業中巡回しながら指導を進めていく。ただし、学生の判断力や想像力を必要とする部分に関しては、学生に自身で考えるようヒントやアドバイスをするなど心がけている。

・自らの専門分野における教員としての成長や発展

学生にとっては、はじめて取り組む設計課題である。特に模型作成は時間と集中力が必要である。また、模型の技術向上のためには失敗を繰り返さず最後までやり遂げることが重要であると考え。教員側は、学生に最後までやりとげられるようサポートすることを第一に考えている。

（学生に求めること、学生に対する期待）

・学生の専門能力の向上

模型を完成させることによる成功体験を積み上げ、自信をつけてもらうことを第一と考える。また、模型作成を通して、自身の作品や、他の学生や先輩の作品など、様々な作品と自分自身の作品を比べ、改善点などを発見してもらいたい。

・学生の人間的成長

模型作品は、教室で他の学生と一緒に（グループ作成という意味でない）に作成することで、他の学生の良い点や、参考になる発見など見つけてもらい、また、学生同士で教え合うなど、チームワーク能力や、コミュニケーション能力を身に付けてもらいたい。

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前短期大学 所属：ライフデザイン総合学科 名前：藤本 幹也 作成日：2024年12月20日

・Web の利用

模型作成を終了した後に、作業の振り返りを行う。その際に模型作成でうまくいった点、や反省点、次の課題に対するいきごみを回答してもらい、ゼミナールの発表に向け、作品の精度を向上させる。

4. 教育の成果

どうであったか

学生にとっては、初めての照明デザインの作成、建物の設計についても、個別での作成になるため、作業時間や作業能率も非常に悪いが、基本的に学内で作業をさせており、学生同士で作り方を教え合うなど、ともに成長できる環境にしている。また、作品は学園祭例年11月に展示するため、在学生だけでなく多くの一般の方に見てもらえるため、学生も非常に満足している。

5. 改善への努力と今後の目標

目標に対する自分の課題

建物のデザイン・作品のコンセプトにかかる時間が、プランニングや模型については、比較的ゆとりをもって取り組んでもらっているため、建物の創意工夫した点やコンセプト、CGによるプレゼンなど多くの学生が工夫して取り組んでくれた。しかし、大学内での作業時間には限界があり、自宅のできる作業、学内でできる作業内容を分けて、より完成度の高い模型を作成ができるよう工夫したい。また、大学内以外の学修時間の確保が厳しい場合は、長期休暇（夏休暇）中に、学生に大学に来てもらい、数時間でもよいので作業ができる環境をつくるよう工夫したい。

課題の解決方法と計画

学園祭は秋学期であるが、秋学期開始から学園祭までの授業回数が少ないため、春学期の終盤および、期末テスト期間や長期休暇中に作業ができるよう学生とのスケジュール調整を前もって準備したい。

今後の目標

現在は住宅の作品は展示しているのみであるが、一般参加の方にも作品をみるだけでなく、アンケートや簡単な投票（好きなデザインや間取り）に協力してもらい、学生を評価してもらシステムを導入したい。

【添付資料】

・照明デザインのコンセプト及び、卒業設計の中間報告と卒業設計にむけての取り組み課題（模型写真）。

ティーチングポートフォリオ参考資料

ゼミナール B

照明デザイン

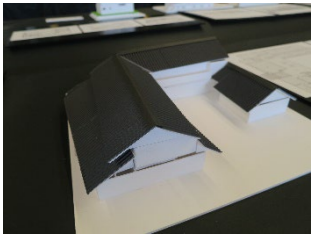
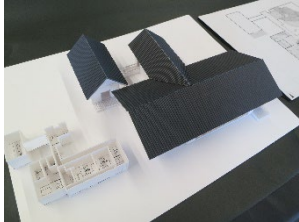
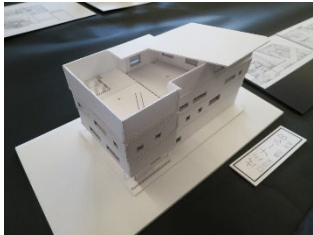
照明デザイン作品

		
<p>水槽と魚をイメージした作品。使用している材料を工夫している。</p>	<p>形状は単純であるが、側面4面を用いて四季がイメージできるデザインをしている。</p>	<p>「和」をイメージした作品。使用している材料は木材と和紙。</p>
		
<p>一枚の厚紙に、折り目をつけ細かいデザインを表現している。</p>	<p>正方形の中に、幾何学をデザインし、さらに色画用紙をうまく組み合わせている。</p>	<p>外観は非常に複雑な形状になっているが。各パーツはシンプルな形状になっている。</p>
		
<p>立方体をベースにデザインしている。全体は非常に複雑なデザインを表現している。</p>	<p>基本の形状は矩形を採用しているが、色々な材料を工夫して組み合わせ、流動的なデザインになっている。</p>	<p>基本の形状は正方形であるが、サイズの大小をうまく組み合わせ、デザインを表現している。</p>

卒業制作

		
<p>【概要】 建物の用途は宿泊施設、敷地内には受付、宿泊施設、庭、水路などさまざまな工夫がされている。</p>	<p>【概要】 建物の用途は 4 階建ての住宅。建物内は複数の部屋が配置されている。</p>	<p>【概要】 建物用途は美術館、各部屋の配置や、動線計画を配慮した。屋根のデザインは形状を意識した。</p>
<p>【卒業設計にむけて】 建物配置計画など、見直し、メインとなる建物の模型を S=1/50 で作成予定。</p>	<p>【卒業設計にむけて】 部屋の間取り計画などを再度みなおし、建物全体模型を S=1/50 で作成。</p>	<p>【卒業設計にむけて】 建物用途を変更し、新たな設計をする予定。</p>
		
<p>【概要】 建物用途は集合住宅、屋根のデザインなど、模型を作成しながら検討した。また、住戸を 1/50 スケールで作成した。</p>	<p>【概要】 建物用途は集合住宅、間取りデザインを S=1/100 で模型を作成した。</p>	<p>【概要】 建物用途は住宅、建物の間取りを検討し、S=1/100 で模型を作成。屋根の形状や窓の位置、外構について検討した。</p>
<p>【卒業設計にむけて】 全体の間取りの再構成と、住民が多様に使用できる空間を提案。</p>	<p>【卒業設計にむけて】 間取りの見直し、全体のデザインを再度チェックし模型を S=1/50 で作成</p>	<p>【卒業設計にむけて】 間取り、外観のデザイン、屋根のデザイン、インテリア、家具などを再検討。S=1/50 で作成。</p>

卒業制作

		
<p>【概要】 建物用途は美術館。規模が大きいいため S=1/200 で模型作成。和がテーマであり、模型では特に屋根のデザインを検討した。</p>	<p>【概要】 建物用途は民宿兼カフェ。建物の間取りや屋根の形状を S=1/100 で作成した。</p>	<p>【概要】 建物用途は保育園（都心部）を計画。部屋の配置や、屋上庭園の使用方法を検討した。</p>
<p>【卒業設計にむけて】 展示空間のデザインや、作品展示の方法を検討。部分的に S=1/100 で作成する。</p>	<p>【卒業設計にむけて】 建物の一部をカフェとしてデザイン。部分的に S=1/50 で作成する。</p>	<p>【卒業設計にむけて】 建物の外壁のデザイン、屋上庭園の模型を作成する予定。</p>